

トヨタ財団共同研究助成ワークショップ

拡大する外国人労働者の 受け入れ — ケア労働を中心に —

日時：2017.2.5(日) p.m. 2:00～6:00

場所：龍谷大学大阪梅田キャンパス研修室

ヒルトンプラザウエストオフィスタワー 14 階

入場：無料・申し込み不要

報告：

安里和晃（京都大学）

「多様化する介護のチャンネルと課題」

早崎直美（RINK事務局長）

「家事労働者の受け入れ-大阪特区を中心に」

コメント：

青山薫（神戸大学）

四方久寛（弁護士・マイグランド研究会主宰）

主催：トヨタ財団共同研究助成「現代日本における周縁労働市場の再編を移動する者たちの視点から理解する—新しい支援スキームの構築のために—」

共催：科研基盤B「人口減少社会における外国人労働力再編に関する研究」

* 連絡・お問い合わせ:migrants.marginal.labormarket@gmail.com

* 閉会后、懇親会を開催します。当日参加も可能ですが、参加予定の方はできるだけ事前にご連絡ください。

近年、日本政府は「移民の受け入れはしない」としながらも、グローバル化と少子高齢化を背景に、国外からの労働力の受け入れを拡大するための法・制度の改定を進めています。このような動きは、日本人が敬遠しがちな周縁的な労働力市場において顕著となっており、そこに組み込まれる外国人労働者の社会的・法的地位の脆弱性が問題になっています。また、現在、安価で都合のよい労働力の需要が世界的に高まっているなかで、多くの国が外国人労働者の受け入れを拡大させています。

こうした認識を前提に、本ワークショップでは、主に介護や家事などケア労働という視座から外国人労働者問題について議論したいと考えています。法・制度の矛盾や隙間、労働の現場が抱える問題、外国人労働者が直面する困難、支援のあり方など多様な視点から外国人労働者問題について話し合う場にしたいと思います。

2017年2月5日(日) 龍谷大学梅田キャンパス

13:30～ 開場

14:00 開会挨拶・趣旨説明
崔博憲 広島国際学院大学

14:15～ 報告
安里和晃
「多様化する介護のチャンネルと課題」
早崎直美
「家事労働者の受け入れ：大阪特区を中心に」

15:30～ コメント
青山薫、四方久寛

16:00～ 質疑応答・全体討論
18:00 閉会

会場へのアクセス

ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14階
JR「大阪駅」桜橋出口より徒歩4分
大阪市営地下鉄四つ橋線「西梅田駅」3番出口
地下通路で直結



安里和晃(あさと・わこう)

京都大学大学院文学研究科特定准教授。フィリピンを中心としたアジアの移民研究に取り組んできた。主な著作・論文に「グローバルなケアの供給体制と家族」『社会学評論』64(2014)、「家族ケアの担い手とし組み込まれる外国人労働者—香港・台湾・シンガポール」落合恵美子編『親密圏と公共圏の再編成』京都大学学術出版会(2013)など。2014年フィリピン大統領賞を受賞。

早崎直美(はやさき・なおみ)

RINK(すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク)事務局長。1990年代より外国人労働者支援活動に関わり、また関西を中心に在日外国人問題についての講演なども多数行う。「技能実習制度拡大によって今後どうなるか—支援現場から」『女たちの21世紀』2015年9月号など。

青山薫(あおやま・かおる)

神戸大学大学院国際文化学術研究科教授。専攻は社会学。ジェンダー/セクシュアリティ・スタディーズを軸に移住、性労働について論じてきた。主な著作・論文に「日本における移住セックスワーカー：「社会的排除」に遭う変化の体現者」『アジア女性と親密性の労働』京都大学出版会(2012)、『「セックスワーカー」とは誰か—移住・性労働・人身取引の構造と経験』大月書店(2007)など。

四方久寛(しかた・ひさのり)

弁護士。関西圏の弁護士や通訳者らで組織されるマイグランド研究会を主宰。移住者の労働・人権問題の事件に多く携わってきたほか、外国人支援のシンポジウムやワークショップで数多く発言してきた。主な論文に「日本の外国人労働者の現状」『民主法律』280号(2010)など。四方法律事務所。